

切削モデリングマシン

システムデザインセクター

システムデザインセクターでは、手づくりの試作を行うことができる実践セミナー室や映像編集室、大型プリンター・シールプリンター、スタジオ撮影システムなどを保有しています。

今回は、3Dデータから樹脂や金属などを切削して試作品などを作製できるモデリングマシンについてご紹介します。

特徴

機種名

高精度3Dモデラ MDX-540SA
ローランドディー.ジー.株式会社

精密ボールネジ採用の高精度モデルです。3D-CADデータ(IGES、STL形式)を読み込むだけで、誰にでも簡単に使える専用の切削RPソフトウェアを搭載しています。ATC(オートツールチェンジャ)により、複数のドリルの交換が自動で可能です(ATC4本)。



ジュラルミンの切削加工



切削加工後、着色完成した試作品

活用事例

◆用途

三次元CADで作成した3Dデータを利用して、樹脂、金属などさまざまな物をドリルで切削し、デザイン検討のためのモデルやパーツの試作、治具製作、簡易金型の作製などを行うことができます。

◆展示会用の試作品作製

表面の仕上げの美しい試作品を作製することができます。展示会用の試作品や社内デザイン検討用の試作品の作製を行うことができます。

◆試作品の追加工

成型した試作品や3Dプリンターの造形品などに追加工を施し、検討を行うことが可能です。単純な穴あけやフライス加工だけでなく、複雑な三次元形状の追加工も高精度に行うことができます。

装置の仕様

- ストローク: 400×400×155mm
- 加工可能材料: 樹脂、軽金属
- XYZ軸駆動方式: ACサーボモータ 80W
- スピンドルモータ: DCブラシレスモータ 400W
- スピンドル回転速度: 400~12000rpm
- 繰り返し精度: ±0.02mm
- 制御コマンド: RML-1, NCコード(Gコード)

料金例

- NCデータ作製および1日加工 18,000円
- ※上記料金は、一例です。詳細はお問い合わせください。